

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	あおいの理念及び理念に伴う基本方針を1F・2Fの玄関、事務所に掲げている。	○	ご家族及び来客の方々が目につく場所に設置する事によって、あおいを理解していただく事に繋がっていけば幸いです。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	朝・夕理念と基本方針を職員全員で唱和し、少しでも実践出来るよう心掛ける。		
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	家族会や運営推進委員会会議で、ご家族や地域の方々のご理解を頂ける様、説明及び質問を受けて理念の推進を図る。	○	昨年より理念の掲示を大きくし、職員の行き帰りにも目に入る様にとする思いで設置する。
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	主なホームの行事等に地域の方々を招待している。反対にご近所の花作りの方々からの招待を受ける事も多い。開設以来3年が経過し、隣近所との付き合いもスムーズになって来た様である。	○	今後増々よりよい関係・日常的な付き合いが出来る関係を築いていきたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	昨年から地域の総会・運動会・草刈等に参加し、出来るだけ地元の人々との交流を持つ様にしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>もっと野菜・花作り等で地域の高齢者(実際に花・野菜作りを続けている方々)に手ほどきをうけて行けたらと思う。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>今年は自己評価及び外部評価は職員全員参加で取り組んでいる。当ホームは3つの担当に別れて取り組んだ。(施設長・介護職・看護職)</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>昨年から、当ホームの介護職・看護職・事務職・給食室の管理者の参加で、あおいの介護内容を外部に知って頂く良い機会であると考えている。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>常にスタッフには、虐待をしない・行なってはいけないと言う意識を持ち続けて行かなければならない。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は管理者・介護者・看護者・事務職と入念な説明等に対応している。解約時も、ご家族の決断をしっかりとっての上で行なうこととする。解約時には特に十分に納得して頂いた上で行なう様にしている。</p>	○	<p>入居の際十分な聞き取りが出来たと思っても、入居後聞き取りと資料と随分違う入居者の状態があるので、より深い面接・聞き取りが必要であると考え。入居者の転居の際は、当ホームが次の住居及び入居先を探す事とする。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>直接意見・不満・苦情を利用者が訴える事は困難であるので(中には数名おられるが)職員が可能な限り、利用者様の表情・言動を見極め、対応出来る様務めている。</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>2ヶ月毎に宛てたホームの通信に利用者様のホームでの様子、担当介護士の交代時のお知らせ、健康状態を掲載している。又、請求書発送時に小口預かり金の現在残高もお知らせしている。</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談員(元民生委員・深町輝子氏)を設けている。又は家族代表の方にも電話等で相談される事もある。直接運営者に言ってく事が理想ではあるが、現実には難しい様である。</p>	○	<p>ご家族が何でも言える雰囲気を作って行く事が大切でと考えるが、少しづつ(以前に比べ)出来ている様に感じる。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議・運営推進会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設けている。意見をまとめて記録し、より良い運営を推進する機会であると考え。</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の病気・入院には他の職員が変わる等の対応で調節を行い又、職員の家族の病気・入院等の場合も出来る限り対応している。</p>	○	<p>勤務状態の平均化・平等化を念頭に置き、職員の希望を聞き乍らシフト作成にあたり、あおいの大きな行事には全員出席等で対応している。(夏祭り・クリスマス等)</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	○	<p>離職の理由を利用者にも分かり易く説明する様にしている。新しい職員に早く利用者を覚えて貰う様にしている。方法として 利用者のファイルをしっかり勉強して貰うことにしている。</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	○	<p>畑や野菜作りが得意な能力をホームの畑で無農薬の野菜・花作りに精を出して貰っている。天気の良い時には利用者の参加もあり、嬉しい状況であり続けていけたらと願っている。</p>
20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>		
21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	<p>日常の業務に追われ職員育成の機会が充分でない事が不安であるが、出来るだけ時間を作って行きたいと思う。</p>
22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	<p>今後一層の交流を計りたいと思う。</p>
23	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	○	<p>もっと多くの機会を持ち、職員のストレスの軽減に繋がりたい。将来、職員との旅行にと言う計画も持ちたいと思う。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>職員の個々の努力や実績を認め、正しい評価をする事が利用者へのより良い介護に繋がって行くのではないかとと思う。より良いケアが出来る職員には、給与・賞与等考慮している。</p>	○	<p>頑張る職員が落胆しない様な働き甲斐のある給与体制を整えていく様、考慮していきたい。</p>
<p><b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>利用までに、本人及び家族からこれまでの生活歴・趣味等を十分に聞き取り、どの様なサービスが出来るか理解して頂く。しかし1回の聞き取りでは不十分なので何度か機会を作る様にする。</p>	○	<p>認知症の方は場所を移すと混乱される事が多いので、その事をご家族に理解して頂き、軽い認知症の方には住まいが変わる事を伝え、ご理解頂く様に努める。</p>
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>利用の際には、本人及びご家族に内容を納得されるまでお話ししている。そして家族の要望を伺い家族とのコミュニケーションが密にとれる雰囲気作りに努力している。</p>	○	<p>ご家族が面会に来られた度にこちらから声かけて情報を頂く様にしたい。</p>
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> <p>まず、本人と家族の話し合いを密にし、どの様な現在状況及び状態かを把握し、本人に合ったサービスが出来るかどうか検討する。</p>	○	<p>一度では不十分な為何度か話し合う機会を持つ。その中で当施設が出来るサービスと利用者の希望が合っているか確認する。</p>
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> <p>ホームに馴染んで頂く1つの方法として、ショートステイに取り組んでいる。サービスの内容を家族と相談しながら利用者の嗜好や趣味などを十分に聞き取り、こちらからも説明を十分に言い検討している。</p>	○	<p>軽い認知症の方は、理解して頂くのに時間を要する為、体験入居も取り入れている。又、日頃から暖かい雰囲気作りに取り組んでいる。</p>
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> <p>重度化する中、スタッフを気づかい助けて下さる方がおられる。必要とされている事を感じて頂いている入居者がおられる。利用者職員がしっかり信頼関係を持ち乍、一緒に過ごしていける事を常に念頭においている。</p>	○	<p>出来そうな事・出来ない事を見極め準備し見守り、必要に応じた支援を行っている。レクリエーションや行事では必ず出番を提供し、スタッフと共に楽しんでもらっている。今後も支え合う関係の向上を願っている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>行事やお誕生日の参加をご家族に呼びかけている。ご家族との交流を大事に行きたい。</p>	<p>○</p> <p>行事にご家族がもっと参加して頂ける様、面会時に来られた時等呼びかけている。</p>
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>お正月・お盆・法事ごと・その他の外出(利用者との食事)外泊等、本人やご家族の希望を取り入れている。</p>	<p>○</p> <p>行事・花見・レクリエーション等、家族の参加を呼びかけ協力をお願いする。面会の折には話し易い場所を提供する様心掛けている。その際、利用者の日常の中での微笑ましい話題をお話する様心掛けている。</p>
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>コーヒーを飲んだ記憶、料理を食べに行った事を思い出せる様外出の機会を設け、喫茶店・食事等に出掛ける。生まれ育った所で面影が残っている所へお連れしている。</p>	<p>○</p> <p>ご家族と一緒に墓参りに利用者をお連れしたい。</p>
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者同士の関係を把握し1F・2Fと分けてする事なく、時には一緒にカラオケ・詩吟・ラジオ体操等に参加して頂き、スタッフ・利用者同士のコミュニケーションが取れる様に心掛けている。</p>	<p>○</p> <p>利用者同士の相性の問題を考慮し、居室変更や食卓の座席移動も行っている。本人の能力に合わせた家事のお手伝いをお願いし、職員も一緒になって行う事により利用者同士のコミュニケーションが取れる様心掛けている。</p>
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>ホームを退所されても絵画や書を送って下さる事もある。それをホールに展示する等継続的な関わりを持つ様に努めている。それで一度退所されても再入所を希望される事がある。</p>	<p>○</p> <p>病院入院(胃ろう他)された方々には、職員がお見舞いに伺う等の関係継続に努める。</p>
<p><b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>普段から利用者一人ひとりに何か困難な事がないか聴いている。利用者やご家族の要望にはすぐに対応する様にしている。</p>	<p>○</p> <p>可能な限り本人の希望を叶える様に取り組んでいきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常生活の対話の中で思い出として聞き、これまでの暮らしを把握している。	○	利用者の中に糖尿病の疾患を持っている方が数名おられるが、血糖検査やインスリンコントロールで身体的にも安定した日常生活の支援をしている。フェイスシートを活用した新しい情報の書き込みを行っている。
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の検温・血圧チェック(毎日・週1回と個人別)・月一回の体重測定・残存機能の活用・個々のADL観察・見守りを行い、必要に応じて記録しその日のスタッフに申し送る。その日の現状を把握する為に、小さな事も他のスタッフに申し送りをする事により、個々の現状を把握する事ができる。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎日の健康管理と現在の問題点を話し合っている。家族が面会の時に何でも言って下さる様な雰囲気作りにも心掛けています。	○	利用者の皆さんがあおいの暮らしが楽しいと思って貰える様な介護をして行きたい。
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	カンファレンスの話し合いと共に担当者との話し合いの機会を持ち本人・家族と話し合う様に努めている。ご家族の意見を何でも聞ける様に日頃から気をつけている。状態変化は速やかにその都度連絡を行なう様にしている。	○	ご家族とのコミュニケーションをより深くとり続けて行く事に努力する。
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の観察の中で、問題点の発見などがあればカンファレンスで見直しなどのプラン変更などを考える。	○	事故までに至らないが、ヒヤッとした事を業務日誌に記録し、ヒヤリハットとして取り上げ情報を共有する。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームの隣に一昨年9月よりデイサービスを開設し、グループホームの職員及び利用者とデイサービスの職員及び利用者と一緒に行事を行い、(クリスマス・雛祭り・長寿の祝い・花見等) 他に外食やドライブ・地域の散策に出掛けている。	○	最近、デイサービスの人数が増えて一緒に行えない行事も出てくると思うが出来るだけ助け合い柔軟な支援が出来たらと考える。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>ホームの運営・活動には、民生委員・ボランティア・警察・消防・文化教育機関との協力が不可欠である。当ホームでは前記の機関といつも良い関係を築き、今年は新しく近隣の金武幼稚園に働きかけ、園児の訪問を受け入れる事とする。他に月一度民謡教室(先生3名来ホーム)と、年に4回のピアノと声楽の先生の「歌おう会」を催している。</p>	○	<p>入居者の方々が重度化されているので見守り等が大切になって来ている。職員だけでは目が届かない場合も多々あるので、民生委員・ボランティアの方々の協力をお願いしている。</p>
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>地域の他のケアマネジャーやサービス事業者との話し合いを持ち、支援の輪を広げて行きたい。現在は他のサービスの活用支援は、受けていない。</p>		
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>以前は、地域包括支援センターとの協働は運営推進委員会のみであったが、入居継続が困難な利用者の相談等をさせて貰っている。</p>	○	<p>今後とも、地域包括支援センターとの交流を密に持ちたいと思う。</p>
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の意向を伺い主治医(内科医)を決定し、他に整形外科・歯科・耳鼻科・眼科・皮膚科の往診を受けている旨を説明し、ご家族に決めて頂いている。尚、当ホームは訪問看護ステーションはなど医療連携を結んで24時間体制を執っている。</p>	○	<p>入居後は殆どのご家族はホームのかかりつけ医に決められるが中には入居前からのかかりつけ医に引き続きかかれる方もある。</p>
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>主治医に認知症に関する診断を受けたり、治療を受けられる様に指示・支援を受けているが、それでも対応出来ない場合専門医の紹介を取り付け受診する。</p>	○	<p>歯科・眼科・他のかかりつけ医に十分な理解のある先生方に対応して頂き、感謝している。</p>
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>当ホームは3名の看護師が看護にあたり、他に医療連携を結んでいる訪問看護ステーションに週1回の訪問看護を受けている。</p>	○	<p>緊急時に24時間何時でも対応して貰えるのが夜勤の職員には心強い事である。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>48</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>利用者が入院中安心して頂けるよう入居中の情報を病院に報告し、又出来るだけ早く退院出来る様病院としっかり情報交換をして対応している。</p>	<p>○</p>	<p>病気は避けられないが、ケガ(骨折等)で入院される方が少なくなる様に見守りを重視したい。</p>
<p>49</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>現在ターミナルの利用者2名を抱えている。主治医の往診と訪問看護の支援を受けている。</p>	<p>○</p>	<p>終末ケアに入っている利用者に早出の体制を作り対応している。</p>
<p>50</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>【2Fに入居されている94歳の男性について】 昨年夫人が他界されるが本人は引き続いてターミナルDrの支援を受けている。現在の症状は心不全症状によるむくみ不整脈があり、水分補給がうまくいっていない。時折の妄想もありその旨ターミナル専門医に往診時に報告する。専門医からは本人には、しっかりお茶を飲む事。おしっこを出さないとむくみが取れないよ。と話して頂くとその時は納得して下さるが継続できない現状である。</p>	<p>○</p>	<p>ターミナル医の意見は、食べる事が楽しみな高齢者に色々な規制はせず、好きな物を好きな時にあげて良いとの事。主治医との意見の差が多少あるものの、それぞれのDrの指示に対応していきたいものである。</p>
<p>51</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>家族と施設側が同じ考えのもとでケアにあたり、安心感を持って頂ける様努力する。</p>	<p>○</p>	<p>新しい場所に移られる場合当ホームよりも、より良い環境を捜す努力を続けて行きたい。</p>
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>52</p> <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者のプライバシーにあたる書類は絶対に持ち出さない様施設をし、職員がプライドを持って利用者の個人情報を口外しない様になっている。</p>	<p>○</p>	<p>その都度々利用者のプライバシーを守る事を徹底している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援で最も大切な事は、何よりも本人の意見を尊重する事。それにはしっかり本人の訴えを傾聴する事。その中から職員が見つかる事に他ならない。</p>
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	<p>毎日の身だしなみの中で洗顔後スタッフの支援で化粧水をつけ眉を引く頃には、とても安定した状態になられる。化粧や身だしなみを整える事により、利用者の方々の気分も変わる事もあり、今後も続けたい。</p>
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>重度化され全員の利用者にお手伝いをして頂く事は不可能であるが、出来る範囲で一緒に出来たらと考える。</p>
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>夜中にでも希望があればコーヒーなどで提供している。</p>
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴を楽しんで頂く様、和やかな雰囲気の中で入って頂いている。拒否される方もあるが本人が納得いくまで話す様にしている。</p>	<p>○</p> <p>決して無理強いはしないで本人から希望される様に持って行きたい。</p>
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>睡眠に昼夜逆転が見られたり眠りが浅かったりする為、食事中うとうと状態が表れ嚙下にも問題が出て来ることもある。朝食・昼食後1時間程ベッドに休んでもらっている。その後3時のおやつにはすっきり覚醒され、笑顔・発語もみられる。</p>	<p>○</p> <p>午前・午後にベランダ・フロアーを誘導し軽い歩行やボール投げ等心地よい疲労を味わってもらい、安定した眠りへと導く支援を行っている。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>季節に応じて散歩・ドライブ・お花見などで、不安・混乱を取り除き気分転換が計れる様に対応している。</p>	<p>○</p> <p>日毎・時間毎に変わられる利用者の状況に、職員がどんな場合でも対応出来る様、経験を積んで行きたい。</p>
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の管理は不可能な利用者が殆どなので、お金の所持はして頂いていないが、理解出来る方には買い物等は自分で支払って頂くこともある。</p>	
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>毎日の会話の中でその人にあったコミュニケーションが取れるよう心掛けている。外出の希望も出来得る範囲で対応して行きたい。</p>	<p>○</p> <p>ご家族の協力も得て、少しでも利用者の希望に添える様にしたい。</p>
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>当ホームの車でデイサービスの方と一緒に食事に出掛けたり、お茶や散歩にと頻繁に出掛ける対応に努める。</p>	<p>○</p> <p>今後は利用者とそのご家族と外出の機会を持てたら良いと考える。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	あおいの2Fにはご自分で通信手段を実行出来る入居者はいないので、実行に至っていない。	○	妄想等の出現で家族に電話したいとの申し出があるので、その折々に対応している。その例として利用者の娘さんから電話と言う事で内容を職員が作り、メモにして本人に渡すと落ち着かれる。
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族の方が訪問されると座っておられる場所を提供し、楽しい出来事や笑った出来事など情報を聞かせて頂き、施設側も生活状況などをお伝えする。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当ホームも身体拘束は絶対にしない方針である。	○	行動範囲の把握と見守りを徹底出来たらと思う。
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の居室は勿論の事、出入り口には鍵をかけないケアを基本としている。玄関のみは簡単な鍵のみ(利用者の安全の為)使用する。	○	不穏になられたり外に出たい意志が利用者に見られたら、必ずスタッフが同行して散歩等で対応している。
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に見守りは徹底して行っていきたい。昼間は職員が多いが、夜勤帯での見守りが不安な時もあるが、出来る限り安全に配慮して行きたい。	○	寝つきが悪い人等に入眠剤の投与後の睡眠中のトイレ時の足のふらつきに依る転倒等の事故を回避したい。
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	家庭的な雰囲気の中では、置いていても不思議ではない掃除用洗剤や消毒剤・包丁ではあるが、認識が不十分な利用者が多く、一律して保管している。	○	洗面所の手洗い洗剤は物陰に置き、使用出来る利用者は置き場所が分かっている使用出来る事が出ている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> <p>口に入れたり触れたりすると危険な物は、目に付く場所に置かない様に引き出しの中になおしている。窒息・転倒などについては、3対1の対応で常に見守りやスタッフ同士で声かけをし、事故回避に努めている。</p>	○	<p>起こってしまった事故については事故報告書を作成し、スタッフ全員が危機意識を持ち、どのような事態にも対応出来る様、改善すべき点、再度防止策を検討し今後研修会などに参加し、より安心して生活して頂ける介護を目指したい。</p>
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> <p>H19. 11月に防火管理者が大手病院での人工心肺蘇生法を学び、スタッフ全員に応急救護訓練を指導してもらった。訪問看護ステーションによる吸引機の使用法を勉強会で学び、緊急対応が出来ている。</p>	○	<p>今後も定期的な訓練・勉強会は継続して行きたい。</p>
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> <p>年2回 自衛消防訓練を行ない(防災設備点検会社参加) ①消防署への通報 ②消化器の有効な使用法 ③避難誘導法をスタッフ全員が周知。</p>	○	<p>夜間の人手が薄くなる時間帯を考慮した訓練を繰り返し行なう必要があると考える。</p>
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> <p>転倒や持病の悪化など、見守りをしているにもかかわらず起こりうるリスクに対して、家族に十分に理解して頂く為日頃のスタッフと家族のコミュニケーションを深める努力をし、生活状況など発信して行く。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>利用者の細かい反応まで見過ごさずに、全職員に洩れなく伝えられている。体調異変がある場合はすぐに看護師が対応している。</p>	○	<p>毎朝のバイタルチェックや申し送りの徹底を今後共続けて行きたい。</p>
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>薬剤は医師の指示通り入居者が服用出来る様スタッフが支援し、服用による副作用と思われる症状がないか日常確認を行っている。身体上の変化が出た時は医師にすみやかに報告し、薬剤の変更があった場合は、家族にもその情報を発信している。</p>	○	<p>異常時はすみやかに医師・訪問看護センターへの報告を行い、すぐに対応出来る様、常に入居者の状態の観察を続けて行きたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	○	<p>乳製品(朝のヨーグルト)繊維質の多い食品を取り入れ、定時の排便誘導や中庭・フロアでの手引き歩行運動などを行い、便秘解消の支援を行っている。廃用疾患を抱える入居者には、肛門部マッサージ・摘便も施行している。</p>
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	○	<p>毎食後、自分で歯磨きができる入居者にも必ず付き添い個々に合った必要な支援を行っている。時々歯磨きを拒否される入居者には少し時間をおいたり、トイレの帰りにスムーズに洗面所へ誘導出来る様に行きたい。</p>
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	○	<p>身体機能に応じた自助具の活用によって食事の自力維持につなげて行きたい。</p>
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	○	<p>入居後最初の入浴には、必ず看護師が入浴・見守りや介助を行いながら、水虫・疥癬などの皮膚疾患の早期発見に努め、入居順位・個別の洗濯などの対応を行い、現在感染の広がりはない。今後も必要条件と、捉えている。病状出現時には専門医(皮膚科・内科)へ報告を密にし、往診時軟膏の適用がある。</p>
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	○	<p>・保存食の実地 ・食材料の品質温度チェック</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>			
<p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	○	<p>職員が庭の奥の畑に野菜(無農薬)を作っているのので、通りがかりの方や面会の方達が立ち寄り下さる。収穫時には利用者で行い、ホームの食事の献立に入れる様にしている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	○	個人の部屋もその方の体調に合わせて調整している。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	○	ベッド転落の可能性のある方はベッドを除いてソファマットのみで対応している。
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	訴えは全て受け入れ、混乱しない対応・声かけを行っている。 *例「ご飯を食べていません。」「あらっ そうでしたか。今すぐ作ります。もう少し待って下さいね。」とお茶やお菓子で対応する様にしている。
89	<p>○建物の外周リや空間の活用</p> <p>建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	○	時折ホームの廻りを散歩する事もある。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)